

琉球大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: キャリア実習(1単位)
- 実習先企業等: 沖縄県農業研究センター
- 実習場所: 沖縄県糸満市
- 参加対象者: 農学部地域農業工学科3年次
- 実習期間: 9月
- 実習日数: 2週間(10日間)

<取組の概要>

事前学習「キャリアディベロップメント」(3年次必修科目)を受講後、公的研究機関等でのインターンシップを通じ、職業意識の向上や職業人としての社会的役割と責務を自覚し、事後学習を通して自身の職業適性や将来設計について考え、継続的に学修する意欲を育成する。



(温湿度計の検定・補正作業)



(トラクタ実習の様子)

<インターンシップ実習の具体的な内容>

(主な実習内容)

- ・1日目: オリエンテーション、刈払機の実習
- ・2日目: 座学(沖縄県における農業機械の実例)
- ・3日目: トラクタ実習、業務連携の説明等、温湿度計の検定・補正
- ・4日目: 圃場管理作業(草刈)、温湿度計の検定・補正
- ・5日目: グロスチャンバー光強度の測定・調整(チャンバー内での作物を育てる試験において、太陽光と同程度の光強度エリアを探すための測定を実施。)

名桜大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ実践(4単位)
- 実習先企業等：銀行(金融)
- 実習場所：沖縄県那覇市
- 参加対象者：国際学群3年生以上
- 実習期間：8月～9月 ●実習日数：2週間(10日間)

<取組の概要>

社会人として働くことの意味、組織のしくみや仕事のプロセス、職場における人間関係・チームワークなどについて、県内外の各行政機関・一般企業・スポーツ健康増進施設・野外教育施設・社会福祉施設などの実践現場にて学ぶ。



(営業店実習)



(グループワーク発表)

<取組の具体的な内容>

- 1日目：オリエンテーション、自己紹介、ビジネスマナー実習、グループ討議、座学(コミュニケーションスキル)
- 2日目：座学(銀行の役割、金融商品研究、CMイメージ戦略)
- 3～5日目：営業店実習(ロビー・ATM案内)・各系の業務見学・営業担当者と同行訪問・模擬札勘
- 6日目：支店での体験発表、行員との交流会
- 7日目：日本銀行那覇支店見学、ライフプラン営業、CS(顧客満足度)の基本と琉球銀行の取り組み
- 8・9日目：グループワーク、発表に向けての調査、提案書作成
- 10日目：グループ発表、表彰式及びコメント、受講感想レポート作成、総括

沖縄キリスト教学院大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：与那原町役場
- 実習場所：沖縄県与那原町
- 参加対象者：人文学部英語コミュニケーション学科3年次
- 実習期間：8月～9月
- 実習日数：実働10日

<取組の概要>

事前指導として15回の講義の中で、履歴書の作成、体験者(先輩)の講話、職場でのマナー指導等を行った後、夏期休暇中に2週間(実働10日間)程度の企業実習を行う。事後指導としては、実習日誌及びレポートの提出を課す。学生の仕事に対する意識向上だけでなく配属先の活性化にも大きな効果をもたらすことを目標とする。なお、受け入れ先は自ら決めることを基本とする。



与那原町移民の歴史についての講義に参加
(総務課)



海外研修生の三線実技見学(総務課)

<取組の具体的な内容>

町役場(5課)の業務を体験。各課における業務内容は下記のとおりである。

- ・1～2日目：町のガイドブック配付に同行。観光発展のためのワークショップへ参加。(企画観光課)
- ・3～5日目：小学校校長・教育委員会による検討会議を傍聴し、方針決定への様子を見学。(学校教育課)
- ・6日目：研修生(南米移民者子孫)の研修風景見学及び体験。(総務課)
- ・7日目：予算会議の傍聴。町内所有者不明地の聞取りに同行。(財政課)
- ・8～10日目：親子通園の見学や子育て支援施設の訪問。(子育て支援課)

全体をとおして、庁舎内の業務の重要性及び実際に現場を見る事の大切さを体験し、卒業後の進路や就業について深く考える機会とした。

沖縄国際大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ I (2単位：総合文化学部)
- 実習先企業等：沖縄県庁 環境部 環境保全課
- 実習場所：沖縄県那覇市等(本庁及び現場実習先)
- 参加対象者：総合文化学部 日本文化学科 3年次
- 実習期間：9月 ●実習日数：9日間(72時間)

<取組の概要>

沖縄県における自然環境等の保全に関する行政機関としての考え方や具体的な取り組みについて職場実習を介して学び、また、自らの将来の進路・職業選択等についても考える機会とする。



「実習報告会」におけるプレゼンテーションの様子

<実習の具体的な内容>

- ・実習初期：「環境保全課(水環境・赤土対策班と大気環境班)の業務概要」について座学にて学ぶ。
- ・実習中期：座学にて学んだ業務内容に基づき、現場実習を行う。
現場実習の具体例は以下のとおり：
 - ・「航空機騒音常時監視システム」の稼働状況を確認し、民間空港や米軍基地周辺の騒音測定について実地体験を行う。
 - ・「大気汚染常時監視測定局」における業務視察を行い、住民に対する聴き取り調査に同行し、調査の実態に触れる。
 - ・「水質汚濁防止法」の趣旨を理解した上で、河川に出向き、水生生物の採集・観察に基づく「水質調査」を実体験する。
- ・実習後期：現場実習を体験後、「県民にとって安全で快適に生活できる環境を確保するために、何を為すべきなのか？」という問題について学生の観点から考察し、発表する。

沖縄大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:企業実習(2単位)
- 実習先企業等:銀行(金融)
- 実習場所:沖縄県那覇市(本店)、沖縄県浦添市(支店)
- 参加対象者:法経学部法経学科3,4年次、
人文学部国際コミュニケーション学科3,4年次
- 実習期間:8月11日～8月22日 ●実習日数:10日間

<取組の概要>

これまでの講義で学んだ事柄を企業で実際に体験し、企業の実務についてより深く学ぶことを達成目標としている。

<取組の具体的な内容>

実習の事前指導として対象企業の実態調査、履歴書の作成指導、マナー講座の受講、企業訪問をおこなっている。事後指導では実習日誌をもとにした報告書・体験レポートの作成指導、報告会での成果発表をおこなっている。実習報告会は毎年1月に行い、実習先企業の担当者を招き、学生が自らの体験を発表している。また報告書をまとめた実習集録の製作し、実習先企業へ配布している。実習中は実習先企業のインターンシッププログラムに従う。



(企画発表の様子)

(2014年度実習内容)

- 1日目:オリエンテーション、他己紹介ゲーム、企業概要・業務説明、講義「PDCAについて」
- 2日目:講義「プロジェクトの進め方」、マナー講座、グループミーティング、営業店への挨拶(電話)
- 3～4日目:各支店での営業体験実習(ロビーアシスタント、外回り・集金業務同行)
- 5日目:日本銀行那覇支店見学、グループプロジェクト「学生の、学生による、学生のための金融商品」の企画立案、採用内定者との交流会
- 5～9日目:グループプロジェクトの進行
- 10日目:プレゼンテーションの練習、発表・表彰、実習の総括